

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ



題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ

承認 1982年 8月24日

例会日 火曜日 12:30

例会場 愛知厚生年金会館

事務局 ☎763-5110

会長 野村 義雄

幹事 深見 章

会報委員長 北野 寿三郎

No. 44

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束 — 平和に献身

1987~88年度 RI会長 チャールズ.C.ケラー

第288回例会 昭和63年5月31日(火) 曇

◇“我等の生業”

◇出席報告

会員 55名 出席 42名

出席率 76.36%

前回 5月24日 (修正出席率)98.18%

◇ビジター紹介 3名

◇お誕生日祝福

菅原君(5/4)、原君(5/28)、浅井君(6/1)

◇エコボックス

菅原 宣彦君 長い間御無沙汰いたしました。
誕生日祝い。

木全 昭二君 本日のスピーカー高橋 正光
氏を紹介いたします。

笹野 義春君 ホームクラブ長らく御無沙汰
しました。

加藤 敏昌君 先回の例会は会長以下会員諸
兄に大変御迷惑をお掛けしました。何事も主
治医のせいですので悪しからず。

原 富士雄君、浅井 誠寿君 誕生日祝い。

小笠原 清君 結婚記念日祝い。

◇深見幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催いた
しますので、理事役員の方は2F橋の間に
お集まり下さい。

2. 名古屋北RCカメラ友の会より写真展の
ご案内がきておりますので、おでかけ下さ
い。

◇野村会長挨拶

本日も3名のお客様がおいで下さいました。
どうかごゆっくりなさって下さい。

前々回の例会で、日本の児童の知能指数に
ついてお話し致しましたが、本日は高橋様か
ら、ボーイスカウトについて色々とお話を伺
うことになっていますので、私も、もう一度
日本の児童の事についてお話をさせていただきます。

それは戦国時代の児童についてでありまし

てポルトガルの宣教師、ルイス、フロイスの
残している文章によっているのであります。
彼ははるばる日本に布教にやってきて30年間
日本で過し、上は信長によく接し、秀吉、家
康をも知っており、戦国時代の日本を上層階
級から庶民に至る迄深く広く観察をし、それ
を記録に留めていた様です。(日本人の記録
は残っていない様です。)

彼は西洋の児童と比べ、日本の児童を褒め
称え、驚嘆しているのであります。

西洋の児童は4才になっても自分の手を使
って食べる事を知らないが、日本の児童は3
才にもなれば箸を使って自分で食事をする。
親が子を教育する時は、日本の児童は体罰を
受けずに言葉でのみ戒められ、6、7才の幼
児に対してでも親たちは老人に対する様に真
面目に話をした上で悪い点を叱るのである。

日本の児童は10才でも使用者に立ち役目を果
す判断と思慮に於て50才にも見られる。

恥しがらず、のびのびとしていて愛嬌があ
り、演ずる処は常々としている。

西洋の児童は母親にくっついて歩くが日本
の児童は決して従っては歩かない。12、3才
になると刀と脇差を帯びて立居振舞は落着い
て、非常に素晴らしい、全く賞讃に値する。と
ベタほめであります。

武士の子供の事が主となっているとは思
うが、今の子供達は知能指数が極めて高いので、
その点については恐らく戦国時代の子供達より
優れているのだらうと思いますが、事に当
つての思慮分別は到底及ぶところではないだ
らうと思います。

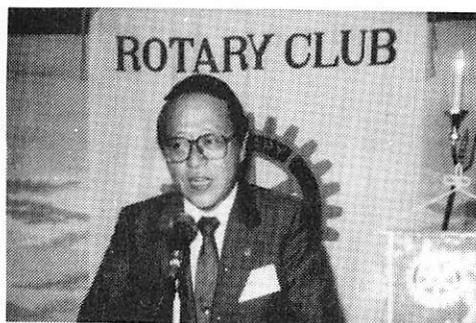
戦国時代の親たちの死生観に基く教育が立
派であったのか、戦国時代の如何なる条件が、
素晴らしい児童を育成することになったのか、
その根源を探り、それを今の世に生かす事が
出来ぬものかと考える次第であります。

◇ 講 演

“私のスカウト時代と
今のスカウティング”

ボーイスカウト千種地区コミッショナー

高橋 正光 氏 (紹介 木全君)



私のスカウト時代と今のスカウティング

私が入隊した昭和24年当時は軍隊帰りの指導者のもとで夏は7泊8日の厳しい訓練だった。キャンプ用品も少なくテントの中で頭が天井に触れると、そこから雨が漏るという、それに比べると今はトラックで近代的な野営用品を沢山持って快適な野営が楽しめる。しかし一方観光開発が進み自然の中で、小川の水を使っただけの炊事、伐採をしての開拓キャンプなどの楽しみがほとんどなくなったのは残念です。

第16回世界ジャンボリーの特徴

シドニーより南60kmに位置する大自然の中の約1.5km四方のボーイスカウト専用キャンプ場で行われた。アクティビティーも常設会場ならではの大規模なものであり、その中でも人気抜群だったのがドロ沼を走破するフィールドアスレチックの様なチャレンジ・バレーだった。参加者の約20%がガールズということでスカウト達にとってはより一層の楽しみがあった様だ。

そして堅い挨拶の多い日本のセレモニーとは全く違い開・閉会式はオーストラリアならではのミュージックショーありの楽しいものであり6隊スカウトもいつまでも世界の仲間と共に歌い続けた。

派遣隊長として心掛けたこと

我々6隊では通常の野営訓練とは違いアクティビティーへの挑戦と国際親善に徹することを目的にしてスカウトへの指導を行った。折角の海外派遣なのだから一人でも多くの外国スカウトと話が出来るように中学校の英語の教科書を復習させ、事前訓練中にも英語による自己紹介、班単位、ペアによる短時間の話す機会を作らせた。幸いにもジャンボリーの前にホームステイがあり耳も少し慣れた様だったし、話すことも体験した。持参したワッペンなどの交換が国際交流のきっかけでありスカウトも思いの外、その雰囲気に乗っ

て話が進んでいた。

そうなるに我々の責任はスカウトの希望するアクティビティーに挑戦出来るようにそのチケットを入手することでした。海外スカウトとの24時間の泊移動野営アドベンチャートレイルは楽しい思い出となった様でした。

素晴らしい西オーストラリア パースの町

キャンプインする前の3泊4日を夏のクリスマスにパースでホームステイさせて戴いた。周囲を含め100万人ほどの人口だそうだが拡大なキングスパークの芝生と樹木の緑、スワンリバーのブルー、その先に見えるビルのはなんと美しい。ブラックスワンを始め野鳥の宝庫レーク・モンガも町から近く自然の中での生活が出来る彼等が本当に羨しく、“世界で一番美しい都市パース”と本に書いてあったがその通りであろう。

——— 第48回ゴルフ会成績 ———

(きなげC.C. 5/19(木))

RANK	NAME	OUT	IN	G	Hcp	NET
優 勝	小林 明	42	41	83	11	72
準優勝	太田 茂	38	45	83	10	73
3 位	安藤 銀之助	50	42	92	19	73
B B	小笠原 清	43	51	94	12	82

——— 第26回夫人ゴルフ会成績 ———

RANK	NAME	OUT	IN	G	Hcp	NET
優 勝	小林 照子	53	52	105	19	86
準優勝	成田 真砂子	60	59	119	29	90
3 位	竹内 逸子	57	65	122	24	98

——— 麻雀 会 ———

(於: 松楓閣 5/19(木) PM 6:00 ~)

RANK	NAME	MARK
優 勝	太田 茂	73,000
2 位	小林 明	41,800
3 位	小笠原 清	12,700
B B	鷺野 義明	-37,100

◇ 例会変更のお知らせ

名古屋東南RC 6/9(木)早朝あさがゆ例会の為、永平寺名古屋別院にて AM 8:00 より

名古屋港RC 6/10(金)E.S.M.の為、松楓閣にて PM 6:30 より

名古屋守山RC 6/11(土)E.S.M.の為、柳田庄にて PM 6:00 より

あまRC 6/13(月)創立記念例会の為、PM 6:00 より

◇ 次回例会 (6月7日)

講演 “最近の健康ブームについて”
愛知学院大学歯学部教授(内科学教室)

二木 厚 氏 (紹介 黒須君)

◇ 次々回例会 (6月14日)

講演 “暴力団(一刀一家)VS
住民の熱い戦いの記録”

田中水野合同法律事務所所長

田中 清隆 氏 (紹介 久保田君)